

日付	内容	巻・章・節	頁	問題番号
9/25(金)	ベクトル解析 1	4 巻 7 章 § 2	p. 41~	2, 5, 8, 9
10/2(金)	ベクトル解析 2	4 巻 7 章 § 3 7 章 § 4	p. 75~ p. 93~	2(a)(b), (2(b)では「極値」を「最大値・最小値」に変更) 12 (前半のみ. 「極値！」を「最大・最小！」に変更), 15 2, 4, 5, 7
10/9(金)	ベクトル解析 3	4 巻 8 章 § 2	p. 126~	1(a)(b)(c), 3, 4, 6
10/16(金)	ベクトル解析 4	4 巻 8 章 § 3 8 章 § 4	p. 143~ p. 168~	3, 7, 8 1, 4, 9 ($\mathbf{n}$ は+z 方向を向いた法線ベクトル), なお、基本計量 E, F, G の意味がやや分かりにくいので、1a)以外については、これらの記号を使わずに本節の解答を書け。
10/23(金)	ベクトル解析 5	4 巻 8 章 § 5	p. 191~	2, 6(トーラスは p.151 参照), 7, 8 (S は p.150 4.2@において $a_0=0$ とした直円錐), 9
10/30(金)	中間試験 その 1			
11/6(金)	常微分方程式 1	5 巻 9 章 § 2 5 巻 9 章 § 3	p. 42~ p. 63~	1, 5(b), 7 1(c)(d)(e), 7(a), 9(下記、ミスプリ参照), 10(b)(f)
11/27(金)	常微分方程式 2	5 巻 9 章 § 6 9 章 § 9	p. 109~ p. 170~	1, 2(a)(b)(d)(h), 3(c)(d), 4(a)(b), 8 (p.102 図 71 参照) 1(c) (ラプラス変換のみ)
12/4(金)	中間試験 その 2			
12/11(金)	複素関数論 1	6 巻 10 章 § 1 10 章 § 2 10 章 § 5	p. 8~ p. 25~ p. 56~	1 (i)(k), 2(b) 6, 13, 14 1, 2, 4
12/18(金)	複素関数論 2	6 巻 10 章 § 6	p. 74~	1, 2, 3, 4, 5, 6 (矢印に沿って積分せよ), 7, 8, 9
12/25(金)	複素関数論 3	6 巻 10 章 § 7 § 9	p. 84~ p. 120~	1, 3, 9 2(a)(b), 3, 8
1/8(金)	複素関数論 4	6 巻 10 章 § 10	p. 140~	3(b)(d)(f), 4, 8, 12
2/5(金) (予定)	期末試験			

*配布プリント(電子版)による追加出題を行う可能性があるので、毎回講義終了時の配布プリントに注意すること。

教科書のミスプリ:

- ・常微分方程式 9 章 § 3 P66 9.(誤) ... $+k^2x=0$... $\Rightarrow$ (正) ... $+kx=0$...

重要事項:

- ・日程の勘違い等による中間期末試験の未受験救済は行わないので注意すること。